

共催プログラム

第1日 11月6日（木）ランチョンセミナー

12:00～13:00

<ランチョンセミナー1> 第1会場「メインホール」

共催：ユーシービージャパン（株）

「全身型MGにおける分子標的治療とその適応となる患者像」

座長：藤 陽子（東京都立神経病院脳神経内科）

演者：水間 敦士（東海大学医学部内科学系脳神経内科）

中根 俊成（富山大学学術研究部医学系脳神経内科）

<ランチョンセミナー2> 第2会場「シビックホール」

共催：日本イーライリリー（株）

「up-to-date 早期アルツハイマー病の診断および治療」

座長：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科）

- (1) 抗アミロイドβ抗体薬治療の最適化を考える～適応患者の早期発見と治療効果判定について～
古和 久朋（神戸大学大学院保健学研究科）

- (2) up-to-date 早期アルツハイマー病治療
猪原 匡史（国立循環器病研究センター脳神経内科）

<ランチョンセミナー3> 第3会場「A1」

共催：エーザイ（株）

「安全性・有益性を重視した高齢パーキンソン病の治療戦略」

座長：高橋 牧郎（関西医科大学神経難病医学講座）

- (1) 高齢パーキンソン病の診療と治療実態
藤岡 伸助（国際医療福祉大学医学部 / 高木病院脳神経内科）
- (2) 高齢パーキンソン病における MAO-B 阻害剤の選択
坪井 義夫（順天堂大学共同研究講座 / つつみクリニック福岡パーキンソン病専門外来センター）

<ランチョンセミナー4> 第4会場「A2」

共催：アッヴィ（同）

「進行期パーキンソン病の治療戦略 2026」

座長：富山 誠彦（弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座）

- (1) DAT をいつ導入するべきか？
濱田 雅（東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻神経内科学）
- (2) DAT の導入をどうするべきか？
前田 哲也（岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野）

<ランチョンセミナー5> 第5会場「A3」

共催：Alnylam Japan（株）

「脳神経内科医が担う ATTR アミロイドーシス診療の起点」

座長：小野賢二郎（金沢大学）

手根管症候群、心原性脳塞栓症に潜む ATTR-CM：診療連携と新たな治療戦略
植田 光晴（熊本大学）

＜ランチョンセミナー 6＞ 第6会場「A4」

共催：田辺三菱製薬（株）

「NMOSD 領域における中長期的な治療目標を考える」

座長：三須 建郎（東北大学病院臨床研究推進センター）

NMOSD 治療のこれから～長期治療管理にフォーカスを当てて～

眞崎 勝久（九州大学病院脳神経内科）

＜ランチョンセミナー 7＞ 第7会場「C」

共催：バイオジェン・ジャパン（株）

「新たな MS 診断基準を踏まえた DMD 治療戦略 up to date」

座長：中原 仁（慶應義塾大学医学部神経内科）

演者：越智 博文（愛媛大学大学院医学系研究科難病・高齢医療学講座）

＜ランチョンセミナー 8＞ 第8会場「D」

共催：第一三共（株）

「化学療法誘発性ニューロパチー：日常診療の疑問を解決」

座長：市川弥生子（杏林大学医学部脳神経内科学教室）

演者：三澤 園子（東京科学大学脳神経病態学分野（脳神経内科））

<イブニングセミナー1> 第2会場「シビックホール」

共催：アレクシオンファーマ（同）

「MG症状の波を起こさない治療を考える」

座長：増田 真之（東京医科大学神経学分野脳神経内科）

富沢 雄二（順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科）

(1) 分子標的時代のMG治療—補体と神経筋接合部の関係—

富沢 雄二（順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科）

(2) 抗補体C5抗体製剤によるMG治療の工夫

増田 真之（東京医科大学神経学分野脳神経内科）

<イブニングセミナー2> 第3会場「A1」

共催：協和キリン（株）

「パーキンソン病の薬物治療」

座長：永井 将弘（愛媛大学医学部附属病院臨床薬理神経内科）

進行期PDの薬剤治療のTipsとデジタルツールの活用について

池中 建介（大阪大学大学院医学研究科神経内科学講座）

<イブニングセミナー3> 第4会場「A2」

共催：田辺三菱製薬（株）

「ALSの進行速度評価 ～診療と治療薬開発への活用を目指して～」

座長：熱田 直樹（愛知医科大学医学部内科学講座（神経内科））

演者：小早川優子（九州大学病院ARO次世代医療センター）

<イブニングセミナー4> 第5会場「A3」

共催：大塚製薬（株）

「認知症診療の新たな展開～BPSDとその対応を中心に～」

座長：小田原俊成（横浜市立大学保健管理センター）

演者：新堂 晃大（三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学）

<イブニングセミナー5> 第6会場「A4」

共催：小野薬品工業（株）

「パーキンソン病—レボドパの最適化とウェアリングオフ」

座長：織茂 智之（上用賀世田谷通りクリニック）

wearing-offの早期把握と個別最適化によるレボドパ治療の実践

西川 典子（順天堂大学医学部神経学講座）

<イブニングセミナー6> 第7会場「C」

共催：CSL ベーリング（株）

「ケースから考えるCIDP治療エビデンスとサイエンス」

座長：山崎 亮（九州大学）

(1) 実臨床におけるCIDP診断アプローチ

水地 智基（千葉大学）

(2) 病態・患者背景を考慮したCIDP治療アプローチ

海田 賢一（埼玉医科大学総合医療センター）

＜ランチョンセミナー 9＞ 第1会場「メインホール」 共催：小野薬品工業（株）
「ウェアリングオフの早期顕在化と薬物治療のポイント～非運動症状の対応も含めて～」

座長：勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

演者：松瀬 大（九州大学病院脳神経内科）

＜ランチョンセミナー 10＞ 第2会場「シビックホール」 共催：エーザイ（株）／
バイオジェン・ジャパン（株）

「早期アルツハイマー病の治療」

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野）

抗A β 抗体レケンビのアップデート～Evidence & Experienceに基づく治療の実際～

古和 久朋（神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域）

＜ランチョンセミナー 11＞ 第3会場「A1」 共催：ノバルティスファーマ（株）
「神経難病患者さんの未来を考える」

座長：田中 章景（横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学）

(1) MSと就労～患者さんの“働く”を考慮した治療を考える～

野原千洋子（東京都立荏原病院脳神経内科）

(2) 神経疾患の遺伝子治療：現状と課題

村松 慎一（自治医科大学オープンイノベーションセンター神経遺伝子治療部門）

＜ランチョンセミナー 12＞ 第4会場「A2」 共催：アルジェニクスジャパン（株）
「全身型重症筋無力症の薬物治療アップデート」

座長：鈴木 重明（東京都立神経病院）

(1) MG症状安定を叶えるヒフデュラの個別化治療実践

清水 文崇（山口大学大学院医学系研究科臨床神経学講座）

(2) MG治療の変遷とFcRn阻害薬ヒフデュラの位置付けと期待

高橋 正紀（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体病態情報科学講座臨床神経生理学）

＜ランチョンセミナー 13＞ 第5会場「A3」 共催：ヤンセンファーマ（株）メディカルアフェアーズ本部
「患者さん視点で考えるgMGのSustained Disease Controlの価値」

座長：村井 弘之（国際医療福祉大学医学部脳神経内科学）

(1) 患者さんの望むgMG治療

長根百合子（総合花巻病院）

(2) The case for fixed schedule dosing for gMG

Tuan Hoang Vu (Carol & Frank Morsani Center for Advanced Healthcare, University of South Florida, Tampa, Florida)

＜ランチョンセミナー 14＞ 第6会場「A4」

共催：バイオジェン・ジャパン（株）

「スピンラザ高用量がもたらす新たな選択肢」

座長：齊藤 利雄（国立病院機構大阪刀根山医療センター小児神経内科）

SMA 治療薬開発後の展望

佐橋健太郎（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

＜ランチョンセミナー 15＞ 第7会場「C」

共催：中外製薬（株）

「NMOSD の最新治療戦略 ～患者中心の医療と RWD ～」

座長：横山 和正（東静岡神経センター）

（1）NMOSD の New era ～患者さんの望みを叶える～

清水 優子（東京女子医科大学医療安全科・脳神経内科兼務）

（2）実臨床におけるエンスプリングの治療効果 ～ Real World Data ～

磯部 紀子（九州大学大学院医学研究院神経内科学教室）

＜ランチョンセミナー 16＞ 第8会場「D」

共催：（株）シーユーシー・ホスピス

「神経難病患者の“生きる”を支える。ーホスピス型住宅の可能性と課題」

座長：漆谷 真（滋賀医科大学内科学講座脳神経内科）

演者：藤田 拓司（医療法人社団西日本平郁会神経内科クリニック）

＜モーニングセミナー＞ 第3会場「A1」

共催：武田薬品工業（株）

「CIDP・MMNにおける免疫療法の進化～現状と今後の展望～」

座長：古賀 道明（山口大学大学院医学系研究科保健学専攻）

演者：桑原 基（近畿大学医学部脳神経内科）

＜ランチョンセミナー 17＞ 第1会場「メインホール」 共催：ヤンセンファーマ（株）
「重症筋無力症」

座長：檜澤 公明（総合花巻病院神経内科）

Sustained disease control improves the life of patients with generalized myasthenia gravis

Tuan Hoang Vu (Carol & Frank Morsani Center for Advanced Healthcare, University of South Florida, Tampa, Florida)

＜ランチョンセミナー 18＞ 第3会場「A1」 共催：帝人ファーマ（株）／帝人ヘルスケア（株）
「パーキンソン病における非運動症状の対策 ―慢性流涎を含む―」

座長：服部 信孝（順天堂大学医学部神経学講座）

演者：中村 亮太（順天堂大学医学部附属浦安病院脳神経内科）

＜ランチョンセミナー 19＞ 第4会場「A2」 共催：アッヴィ（同）
「パーキンソン病治療におけるレボドパ持続皮下注療法の実践」

座長：高橋 一司（東京都立神経病院）

演者：白石 眞（聖マリアンナ医科大学脳神経内科学）

＜ランチョンセミナー 20＞ 第5会場「A3」 共催：バイオジェン・ジャパン（株）
「SOD1遺伝子変異を有する筋萎縮性側索硬化症（SOD1-ALS）治療の新展開」

座長：清水 俊夫（東京都立神経病院 / 府中療育センター）

(1) これからのALS診療―トフェルセン登場で何が変わったか―

清水 俊夫（東京都立神経病院 / 府中療育センター）

(2) SOD1-ALS治療の新時代：クアルソディをどう実臨床に生かすか

石黒 太郎（東京科学大学大学院）

＜ランチョンセミナー 21＞ 第6会場「A4」 共催：エーザイ（株）
「ALSの診断と治療」

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野）

筋萎縮性側索硬化症に対する早期治療の有用性と治験の課題

和泉 唯信（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野）

＜ランチョンセミナー 22＞ 第7会場「C」 共催：藤本製薬（株）
「見逃してはいけない治療可能な代謝性神経疾患 ―脳髄黄色腫症―」

座長：足立 弘明（産業医科大学医学部神経内科学講座）

演者：関島 良樹（信州大学医学部脳神経内科，リウマチ・膠原病内科）

＜ランチョンセミナー 23＞ 第8会場「D」 共催：アルジェニクスジャパン（株）
「CIDP薬物療法の新たな展開」

座長：岡本 智子（国立精神・神経医療研究センター脳神経内科）

(1) CIDPの診断と治療

鈴木千恵子（弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座）

(2) CIDPにおけるヒフデュラの使用経験～患者背景・患者ニーズを考慮した治療選択～

伊佐早健司（聖マリアンナ医科大学脳神経内科）